

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	22 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	小倉	春日	仲谷	宮本	安川

文化財名	三陵墓古墳群(さんりょうぼこふんぐん)				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他()
指定年月日	1996年(平成8)3月22日				
所在地	奈良市都祁南之庄町小広978、東山534他				
所有者 管理者	奈良市 國津神社				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	史跡公園として整備されていて、各所に有り				
公開	史跡公園として整備され見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(史跡は埋め戻され公園として整備されている)				
当面の課題	三陵墓古墳群史跡公園として整備されており、駐車場、トイレ、休憩所等が設置され特に課題はない。				
今後の課題	定期的な草刈等行われているようであるが、一部の説明板周辺では、雑草が繁茂していたり、カビが発生し読みづらい状況であった。				
その他 (由緒など)	前方後円墳1基、・円墳2基の計3基から構成される。東古墳は墳丘長110メートルの大型前方後円墳で、大和高原・宇陀地域では最大規模になる点で注目される。営造時期は、5世紀前半から6世紀頃と推定される。被葬者は明らかでないが、都祁盆地の首長墓と想定され、『古事記』や『日本書紀』に見える都祁直(つげのあたひ)・鬨鷄国造(つげのくにみやつこ)との関連性が指摘される。				
コメント	現在、墳丘には復元された円筒埴輪が並べられ、当時の姿が再現されている。階段で自由に墳丘にのぼることができる。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	22日	記入者	仲谷裕巳	
調査者名	小倉	春日	仲谷	宮本	安川	

文化財名	三陵墓古墳群(さんりょうぼこふんぐん)
------	---------------------

史跡公園内説明板	東古墳復元状況
----------	---------



西古墳復元状況



木棺粘土郭と円筒埴輪の復元状況



史跡公園内案内板(左)とカビで読みにくい説明板



雑草の繁茂状況

